

令和5年2月03日（金）



一昨日、高峰地区内で発生した雪崩の影響で、地方道米沢飯豊線(通称ダム道路)の復旧の見通しが立たないと、飯豊町より連絡が入りました。中津川地区子どもの通学が困難な状況になってしまいました。昨日から、迂回路の菅沼峠を使用したスクールバス運行が再開しましたが、雪道は険しく、登下校に不安があるために、引き続きオンラインでの遠隔授業を受けている子どももいます。

この自然災害の影響で、校内の教育計画の変更を余儀なくされる事態となってしまいました。

一つは、昨日実施予定だった1日入学の延期です。子どもたちは、3年ぶりとなる新入生を楽しみにしてきました。全体会の場で、各自がチャレンジタイムでできるようになった運動遊びや、体育の授業でできるようになった跳び箱の技を発表しようと、リハーサルを繰り返していました。また、5年生は、入学説明会の間、新入児とゲームをしたり遊んだりする交流タイムの準備もしていました。中津川地区に住む2人の新入児と保護者の方が、安心して学校に来られるようになるまで待ちたいと思います。

もう一つは、本日開催予定だったスキーフェスタの中止です。もともと、手ノ子スキー場のシュレップリフト故障のため、スキーフェスタは種目を変更し、手ノ子スキー場付近のクロスカントリーコースを会場として、クロスカントリーの記録会として実施することにしていました。しかし、来週は町小学校スキー大会の準備・運営と日程が重なるため、延期日を設けられませんでした。今回、スキー大会には、4年以上の10名が参加することになっています。

そのような訳で、スキーフェスタの代わりに、今日は学校のグラウンドで放課後練習を行い、町小学校スキー大会に向けた来週7日(火)の現地練習に、選手だけではなく全員で参加することにしました。他校も練習している中ですが、一人一人の記録を測り、これまで練習の成果を確かめたいと思います。中津川地区の子どもたちが一日も早く、安心して登下校できる日を願っているところです。(写真は1月23日(月)の放課後練習で撮った全員の写真)

令和5年2月07日(火)



本日、町小学校スキー大会に向けて手ノ子スキー場の
圧雪車により特設された1周1kmのクロスカントリー
コースで、現地練習会を行いました。

2月3日(金)のスキーフェスタが高峰地区内で発生した雪崩の影響で中止となった代わりに、祖父母学級の会長さんにご足労いただき、本日の練習会に参加する全校児童と2月12日(日)の町小学校スキー大会に出場する選手に向けて、ご挨拶を頂戴しました。祖父母学級の会長さんからは、

「今日は祖父母学級を代表して応援に決まりました。コロナが落ち着いて、4年ぶりのスキーフェスタができると思っていたのに、スキー場のリフトの故障や雪崩によって中止になり、みなさん残念だったことでしょう。クロスカントリースキーは、テレビで見ているとつらい競技だと伝わってきますが、手ノ子小魂でがんばってください。」

といった心温まる励ましのお言葉を頂いた上に、スキーフェスタの参加賞として祖父母学級で準備して下さったノートも頂きました。この場をお借りして、改めて感謝申し上げます。

令和5年2月17日（金）



昨日の4校時目に、3・4年教室で6年生を送る会についての全校会議がありました。これまで全校会議を進めてきた6年生はそこにはおらず、担任と5・6年教室で別の学習をしていました。5年生の一人が司会をし、4年生の一人が黒板書記をし、3年生の一人がノート書記をしていました。

3学期始業式の校長の話では、よりよい手ノ子小にしていくためにみんなでがんばってほしいこととして、話し合い活動を挙げていました。そして、「よりよい話し合い活動ができる力」として、①自分の考えを持ち、進んで話し合い活動に参加すること、②友だちの考えを受

け入れて自分のものにしようとして聞き、物事を進めるために前向きな意見を言うこと、③いろいろな種類の意見を生かし、みんなも自分も納得のいく決定をすることの三つを示していました。

それぞれの学年でどんな内容にするか事前に話し合ってきたことを提案していました。その中から何をするか全体で決めるに当たり、「何のために、どんな送る会にしたいか」というねらいをみんなで確かめるよう3・4年担任がアドバイスしていました。そのかいもあり、選んだ理由として、「6年生に関することなので」とか、「今年の思い出の写真を使って」など、6年生に感謝を伝えるための思い出に残る会にしようというねらいを意識した意見が多く出されました。

また、意見が分かれてまとまらない時、養護教諭から「〇×クイズとゼスチャーゲームを合体したのを考えました」という折り合いをつける提案がありました。すると、「伝言ゲームも合わさっている、よくばりゲームだね」と盛り上がりました。よりよい話し合い活動になるにはまだまだ教師の支援が必要ですが、5年生の司会者を中心に、時間が過ぎるまで積極的に意見を出し合っていました。

今年度は火曜日のロング昼休みに設定していた全校会議ですが、少人数のデメリットを補うべく、来年度は学級活動の時間に、全校会議を意図的・計画的に仕組んでいく必要があると感じました。来年度の教育課程に生かしていきたいと思えます。

令和5年2月27日（月）



2月2日（木）に予定していた1日入学ですが、前日に主要地方道米沢飯豊線（通称ダム道路）で雪崩が発生し通行止めとなったため、本日まで延期していました。未だ通行止めが解除されない中ですが、迂回して来年度入学するお子様を引率してきてくださった保護者の皆様に、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

校長からは、「手ノ子小学校は飯豊町で1番人数が少ない学校だけれども、子どもたちと先生方が力を合わせれば、他の学校に決して負けない。だから、私たちの仲間になってほしい。4月から、見たり、聞いたり、触っ

たり、においをかいだり、味わったりしながらいろんな勉強を一緒にすることを楽しみにしている」といった言葉を2人の新入児にかけました。

校長の挨拶後、新入児と保護者に会議室からホールに移動していただき、全校生によるチャレンジタイムと体育の跳び箱運動の発表を見ていただきました。

鉄棒チームは、逆上がりや後方支持回転を発表しました。縄跳びチームは、二重跳びやはやぶさ跳びを発表しました。けん玉チームは、ロウソクともしかめを発表しました。一輪車チームは、一輪車をしながらけん玉のろうそくやもしかめをしたり、2人でメリーゴーランドをしたりといった発表をする子どももいました。

跳び箱運動は、開脚跳び、かかえ込み跳び、台上前転、頭はね跳び、ハンドスプリングと、難易度がかがっていく中、自分が跳べる技に全員が挑戦していました。

練習のピークは1カ月前くらいに過ぎてしまいましたが、3年ぶりに入学する1年生にかっこいい姿を見せようと、在校生みんなが声や拍手で発表の場を盛り上げ、練習以上の力を発揮した子どももいました。

入学説明会の間、2人の新入児を5年生が読み聞かせをしたりゲームをしたりして楽しませていました。5年生にとっても、最高学年になる意識付けがなされていくよい機会となりました。